



No.133
平成23年6月9日

議会広報

いのん





No.13

発行／伊江村議会
〒905-0592 県沖縄伊江村字東江前38
TEL:0980-49-2924
編集・印刷／(有)サンエス
TEL:098-889-7421

議会の活動

平成23年3月

- | | | | | |
|--------|--------------------------------|-----|-----------------------|---------------------------------------|
| 3日 | 議会運営委員会、議員全員協議会
議会広報調査特別委員会 | 23日 | 伊江・西小卒業式（校区議員）
25日 | 北部市町村議会議長会第4回定例理事会・総会、
北部振興会第2回総会、 |
| 8日～17日 | 第2回定例議会 | | | |
| 11日 | 伊江中卒業式（議員） | | | 北部広域市町村圏事務組合議会定例会（議長） |
| 17日 | 平成22／23年期
さとうきび出荷実績報告会（議長） | 28日 | 議員全員協議会
29日 | 第3回臨時議会 |
| 18日 | 読谷村議会視察（議員） | 31日 | | 退職者辞令交付式（議長） |

平成23年4月

- | | |
|---------------------------|---|
| 1日 村辞令交付式（議長） | 20日 新任教員歓迎会（議員） |
| 4日 村青年会総会（議長） | 21日 芳魂之塔平和祈願祭（議員） |
| 5日 地主会総会、アマギ溜池起工式（議長） | 22日 第4回伊江村議会臨時会 |
| 9日 第18回伊江島一周マラソン大会（議員） | 23日 第1回伊江島ヨットレース表彰式・懇親会（議長） |
| 11日 黒糖工場起工式（議員） | 24日 第1回伊江村郷友会女性部チャリティー芸能のつどい（議長） |
| イージマ郷友会主催新入生激励会（議長） | 27日 県町村議会議長会臨時総会、研修会及び懇談会（議長、局長）、婦人会総会（副議長） |
| 16日 第16回伊江島ゆり祭りオープニング（議員） | 28日 県・市町村行政連絡会議（議長） |
| 17日 アーニパイル慰靈祭（議長） | |



▲第19回伊江島一周マラソン大会後夜祭



▲黑糖工場起工式

平成23年5月

- | | | | |
|-----|---------------------------------|-----|----------------------------------|
| 6日 | 花卉選別施設工事起工式（議長） | 23日 | 伊江村人材育成理事会及び評議員会（議員） |
| 7日 | 郷友会ゴルフコンペ表彰式（議長） | 24日 | 北部議長会・理事会（議長） |
| 10日 | 常任委員長・副委員長実務研修会
(総務、経公正副委員長) | 25日 | 商工会総会（議長）
本部地区交通安全協会定期総会（副議長） |
| 13日 | 子牛共進会（議員）
体育協会理事会（議長） | 30日 | 第5回伊江村議会臨時会 |
| 14日 | 第62回沖縄県植樹祭（議長） | 31日 | 伊江村学対推進大会（議長） |

人事異動のお知らせ～平成23年4月1日付～

議會事務局 主查／川城 佐百合（福祉保健課）

教育委員会 主事／富川 維佐子(議会事務局)

※()内は前職

伊江村議会ホームページで最新情報を!
<http://www.iejima.org/iegikai/>
(伊江村のホームページからもアクセスできます。)

平成23年 第2回3月定例会

H23年 一般会計 岁入

自主財源(村が独自に集める事ができる財源)	8億9,556万5千円	14.7%	
村 税	村民の皆さんのが村に納める税金	2億7,491万7千円	4.5%
分担金及び負担金	村が行う事業によって利益を受ける人から、その対価として徴収するお金	2,433万1千円	0.4%
使用料及び手数料	各種施設の使用料や住民票などの交付手数料として支払ってもらうお金	7,056万1千円	1.2%
財産収入	村が所有する土地建物の貸し付けや売り払いによる収入	1億1,324万7千円	1.9%
寄附金	個人や団体などから譲り受けるお金	2千円	0.0%
繰入金	基金(積立金)の取り崩しなどにより繰り入れて使うお金	3億7,485万2千円	6.2%
繰越金	村の前年度の余剰金を翌年度に繰り越して使うお金	1千円	0.0%
諸収入	他の科目に属さないお金。村税の延滞金、村預金利子、雑入など	3,765万4千円	0.6%
依存財源(国・県からの交付金や借金による財源)	51億8,343万5千円	85.3%	
地方譲与税	国が集めた自動車重量税や地方道路譲与税の一部から、村に配分されるお金	4,876万8千円	0.8%
地方消費税交付金	国が集めた地方消費税の一部から、村に配分されるお金	3,374万9千円	0.6%
各種交付金	国の政策により生じる村の一般財源の不足分を補うため、国から交付されるお金	9,168万6千円	1.5%
地方交付税	自治体が一定水準の行政運営ができるよう、村の財政状況に応じて国から交付されるお金	17億1,000万円	28.1%
国庫支出金	事業など特定の目的の財源ため、国から交付されるお金	13億4,843万6千円	22.2%
県支出金	事業など特定の目的の財源ため、県から交付されるお金	13億2,629万4千円	21.8%
村債	村が特定の目的のため、国や金融機関から借りるお金	6億2,450万円	10.3%

H23年 一般会計 岁出

議会費	議員の報酬や議会の運営に使われるお金	8,059万1千円	1.3%
総務費	村政全般の管理に使われるお金	4億5,955万1千円	7.6%
民生費	児童福祉、老人福祉、障がい者福祉の運営に使われるお金	8億1,458万円	13.4%
衛生費	各種保健事業、生活環境の整備、ゴミ処理に使われるお金	2億951万5千円	3.4%
労働費	労働者への支援など雇用・失業対策に使われるお金	3,217万1千円	0.5%
農林水産業費	農林水産業の振興に使われるお金	18億6,772万9千円	30.7%
商工費	商工業、産業、観光の振興や特産品開発などに使われるお金	1億4,282万7千円	2.3%
土木費	道路、村営住宅、公園など公共施設の整備や維持管理に使われるお金	2億5,441万3千円	4.2%
消防費	火災や地震などの災害に備えるお金	1,742万3千円	0.3%
教育費	教育文化やスポーツの振興に使われるお金	10億7,332万4千円	17.7%
災害復旧費	台風や大雨等で被害を受けたところの現状復旧に使われるお金	350万2千円	0.1%
公債費	村が各種事業を行うために国などから借りたお金の返済金	3億1,555万6千円	5.2%
諸支出金	他の支出科目に該当しない経費	7億5,781万8千円	12.5%
予備費	予測できない歳出予算の不足を補うためのお金	5,000万円	0.8%

平成23年度 会計別当初予算

会計名	予算額	前年度比増減額	伸率
一般会計	60億7,900万円	14億9,400万円	32.6%
診療所特別会計	1億6,500万円	1,400万円	9.3%
国民健康保険特別会計	10億2,400万円	4,500万円	4.6%
後期高齢者医療特別会計	5,600万円	200万円	3.7%
水道事業会計	1億4,549万4千円	216万3千円	1.5%
船舶運航事業会計	12億2,541万1千円	7億2,083万8千円	142.9%
合計	86億9,490万5千円	22億7,800万1千円	35.5%

審議結果の概要は12~13ページをご覧ください。

一般会計は60億7,900万円

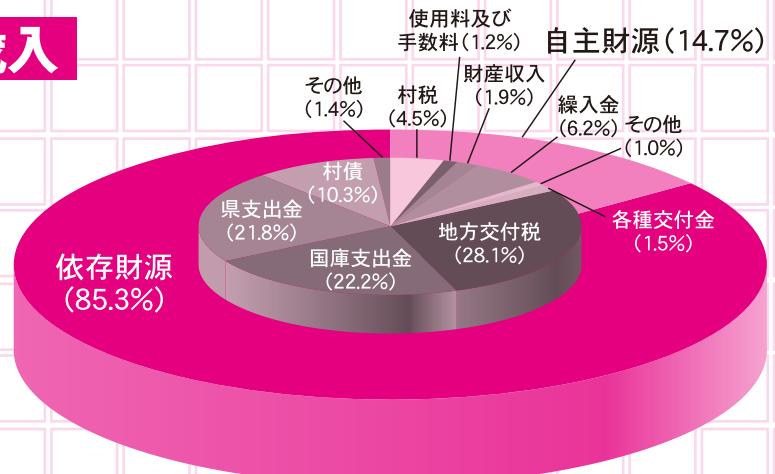
前年度比14億9,400万円(32.6%)の大型予算

一般会計の当初予算が前年度に比べ、32.6%の増額となった主な要因は以下の通りです。

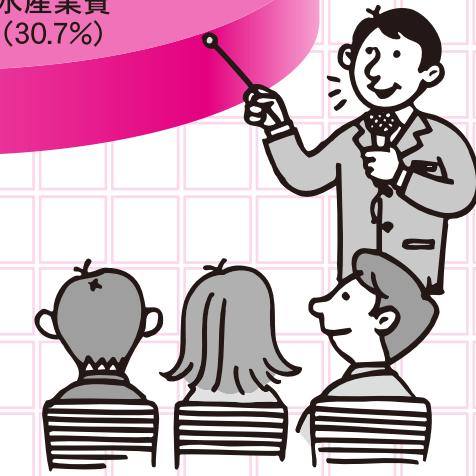
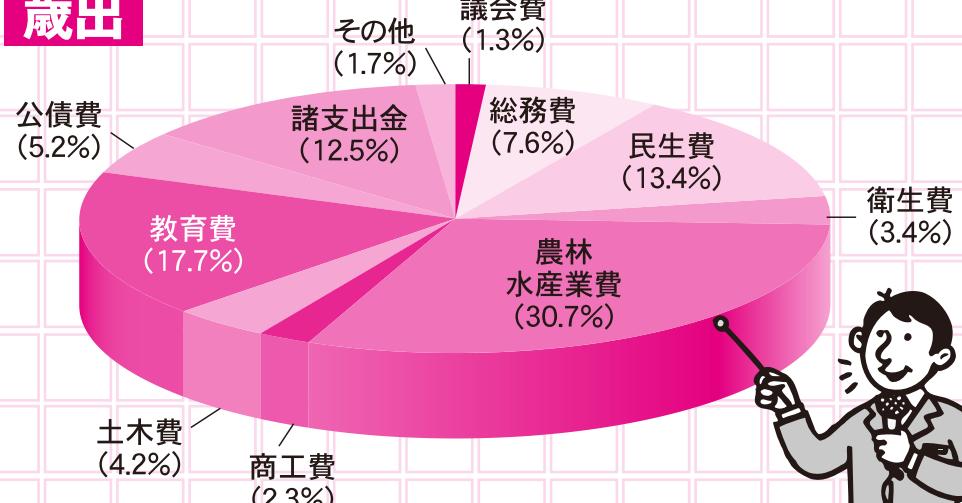
平成23年度 一般会計 岁入歳出予算の内訳

平成23年第2回(3月)定例会を、3月8日 議結果の概要は12~13ページをご覧ください。
から17日までの10日間の会期で開きました。
本定例会では、平成23度一般会計及び特別会計当初予算をはじめ、平成22年度補正予算、議員提出の決議案など31件の議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。(審議結果の概要は12~13ページをご覧ください。)

歳入



歳出



86
億
9,
490
万
5
千
円
(6
会
計
を
可
決
)

討論

一般会計予算
伊江村の発展に期待
内田 竹保 議員
島袋 義範 議員
幼稚園の入園料・授業の見直し実現を
本予算案には、フェリーの代替

平成23年度一般会計予算総額は6億7,900万円と過去5年間の平均当初予算額39億40万円と比べ、近年にない大型予算が編成された。本予算案には、フェリーの代替

本議会中に発生した東日本大震災で犠牲になられた方々にお悔やみを申し上げます。この政治情勢は、子ども手当、高齢者手当、農業所得補償やTPP問題の政策等先が見えず不透明で不安な状態が続いている。

本議会中に発生した東日本大震災で犠牲になられた方々にお悔やみを申し上げます。この政治情勢は、子ども手当、高齢者手当、農業所得補償やTPP問題の政策等先が見えず不透明で不安な状態が続いている。



軍用地の流出を防ぐ方法は

企画総務課長／
関係機関の声や情報を収集し
慎重に検討したい

仲宗根 清夫 議員

答 本村における軍用地以外の土地について、下落の傾向にあるものと認識している。2011年度の宅地平均価格を県が提示したが、伊江村の下落率がもつとも大きい結果であった。一方、軍用地料は年々上昇していることから、投資の対象として売買される事例が増大し大きな問題となっている。本村も広大な軍用地を抱えており、村外在住者に無秩序に売買されると、軍用地返還後の跡地利用計画をしても、地権者の合意形成を図る上で大

問 伊江村は現在、地価の下落や、軍用地の村外県外への所有権の移転が多く見受けられる。伊江村の現実を見た場合、売れる土地は軍用地しかないと考えるのが正直な気持である。それほど経済的に危機状態だと思うが、村の考え方と打開策は。

答 宜野湾市は市で軍用地を買うと変憂慮するものである。今後、軍用地等地主会と関係地主の声や情報を収集し慎重に検討していただきたい。

問 去る11月に軍用地地主会と一緒に普天間、宜野湾市の土地利用関係課を訪ねた。宜野湾市は軍用地返還跡地を先行買い上げす

答 昨年、日本航空高校が伊江村に誘致を打診してきたのは伊江村には空港があるという状況の下だと思う。伊江村の人口減少の歯止めになるかも知れないのに、真剣な調査・議論が必要と思うが、村当局の考えは。

答 本村では、日本体育協会の総合型地域スポーツクラブ育成推進事業により、総合型スポーツクラブ設立準備委員会を立ち上げ、少年団を核とした「伊江村総合型スポーツ少年団」が設立されている。小学生児童のみを対象とする組織から、すべての村民がいつでも気軽に生涯スポーツを楽しめる「伊江村総合型スポーツ少年団」が設立された。小学生児童のみを対象とする組織から、すべての村民がいつでも気軽に生涯スポーツを楽しめる「伊江村総合型スポーツ少年団」が設立された。少年団を核とした「伊江村総合型スポーツ少年団」が設立され、その活動内容は、伊江村の青少年団においては平成22年12月の定例議会において説明した伊江村青少

年旅行村周辺整備基本構想に則り施設の整備を進めています。

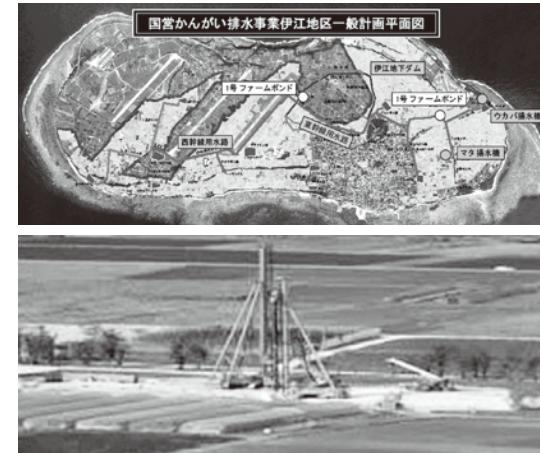
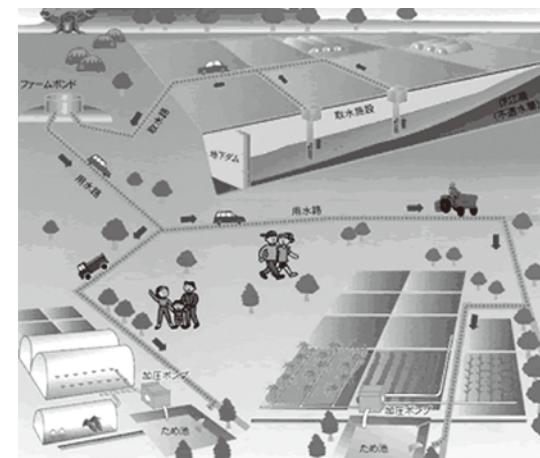
問 平成21年度3月定例議会でも「ダム完成後の維持費の農家負担が重くならないよう対策を講じてほしい。負担が発生するならどうか」と申し上げたが、周知してほしい」と申し上げたが、その後農家への周知対策はどうなったのか。

答 国営地下ダム全受益農家の課金等の周知はしていない。ただ末端の県営と團体営かんがい排水事業の事業採択地区の農家説明会では、工事等には農家負担は発生しない。しかし、事業完成後の水供用開始からは水使用料と基本料金は発生すると説明している。

ダム完成後の軽減対策は農林水産課長／電気料の軽減と制度拡充を要請

島袋 義範 議員

答 農家の負担は、農業用水の集配やかん水時の電気料が大半を占めていると思うが、風力や太陽光等環境にやさしい自然エネルギーを利用して軽減策が最善だと考えるが、村当局が考へているまた国に要請している農家負担の軽減対策はどうなっているか。



問 公共工事の発注は例年7月、8月頃から始まり、遅くとも9月までの6ヶ月間は村の発注工事も少なく、建設業で働いている子育て中の若者はその間収入が無く大変四苦八苦している。工事で発注時期の平準化の努力はでき度末に集中している気がする。

答 4月は前年度の残りの仕事があり、5月から10月ないし11月までの6ヶ月間は村の発注工事も頃には大きな工事の発注はなされてきたと思うが、今年度は年

用が受けられるよう制度拡充の要請をしている。

国・県からの交付決定が遅れ、各関係機関との協議にも支障をきたしている。補助事業は厳しが、村単独工事等については国営ダム工事、県発注工事の手動向を見きわめながら少しでも平動規準化が図れるよう努力したい。

当初予算計上分で繰越事業があるのか、あるとしたらその件数と理由は。

今年度当初予算分での明許繰越事業件数は3件と平成21年度から繰り越した特產品加工施設の事故繰越が1件ある。その理由として国・県からの交付決定の遅れや事業費の減額配分や計画の見直し等により、年度

問 農家負担の軽減対策は農林水産課長／電気料の軽減と制度拡充を要請





青少年旅行村周辺整備基本構想の今後の事業推進について

商工観光課長／
北部振興策の動向を踏まえて対処したい 内田 竹保 議員

答

1年目ということで母牛を淘汰して子牛を購入するとその段階で時間がかかるもあり、事務処理に振り込みの状況も遅れたといたがたい。

農家の方から更新はしたもの、その後振り込みされる補助金、助成金なるものが遅いのではないかという声がある。中には後に入したのが先に振り込みされてしまうような状況も聞くので、その辺もしっかりと事務処理していただきたい。

答

北部振興室より次期対策の北部総合的スポーツ環境の推進といふことで計画をされており、青少年旅行村周辺整備基本構想については、今後、北部振興策の動向を踏まえて対処したい。

問

優良繁殖雌牛更新事業については、これまでの子牛生産奨励金に替わる事業として平成22年度事業で新設されました。10歳以上上の母牛の更新、優良雌子牛の村内保留、市場性の向上と農家所得の安定化を図るのが狙いで伺いたい。

1. 事業の実績について、現時点での事業執行の状況を伺う。(頭数及び金額)
2. 飼育農家一戸1頭の割り当てであるが、経営規模に応じた増頭はできないか。
3. 子牛対策枠を拡大し、セリ市に上場される優良系統若い妊娠牛も対象にしてはどうか。

問

畜産の盛んな本村の特性を生かし、牛フンや他の残渣物を堆肥化し農地へ還元する循環型農業をするうえで堆肥センターの設立には大いに期待しているところである。平成23年度を目途に完成予定の堆肥センター建設の現在の進捗状況と、完成後の管理運営をどのように進めていくか。

答

現在施設の造成工事を3月末までの工期で進めている。平成23年度において堆肥製造場の本体工事を実施し、その他周辺整備については平成24年度に実施する計画である。当初は平成23年工事の実施し、その後伊江村堆肥センター建設委員会において、施設の配置の見直



堆肥センター建設 完成後の運営方法は

農林水産課長／
与論町を参考に伊江村堆肥センター建設委員会で協議したい
内間 広樹 議員

しにより用地取得の業務に時間を要したことや、平成23年度の国・県の補助の減額配分もあり、平成24年度の完成を予定している。また、完成後の運営については、与論町堆肥センターへ職員研修として3ヶ月間派遣し、販売方法等の運営については与論町を参考に伊江村堆肥センター建設委員会において協議をし、完成後の運営を向けて取り組んでいきたい。

答

葉たばこ栽培を例にすると、1.5トンの完熟堆肥施用が必要とされる。平成22年度の葉たばこ栽培の自家製堆肥使用実績が約600キロと必要量の半分となつており、自家製堆肥の確保が難しい耕作農家は市販の主地に使われているもので10アール当たり5,000円から6,000円かかる。農業をする上で堆肥は必要不可欠なものだが、堆肥センター完成後の堆肥購入方法はどうに見ても各生産者団体の代表を入れ、意見を聞きながら販売促進の協力を求めていくことも必要ではないか。

答

1点目の事業実績について、平成23年3月1日現時点で、申込頭数109頭で540万円、年頭内で120頭600万円を見込んでいる。2点目、当初農家一戸1頭割り当てで進めてきたが、該当しない農家、希望しない農家が多くその結果、優良繁殖雌牛の更新が進まない状況に見直し等を行い、一戸6頭を上限として助成している。23年度においては進捗状況をみながら、事業が円滑に推進できるよう取組んでいきたい。3点目、村のセリ市で導入した農家を限定していたが、今回村外のセリ市で導入した農家も対象とし、その枠を広げ、既に実施しているところである。また、セリ市に上場される優良系統の若い妊娠牛についても、4月以降のセリ市上場の状況を見ながら和牛改良組合JAと協議のうえ、改組していきたい。

答

青少年旅行村周辺整備基本構想について、今後はスマートにいくよう努力していく。

青少年旅行村周辺整備基本構想について、今後、導入事業の選定、莫大な予算や土地取得等の問題もあるが、青少年健全育成や陸上競技のさらなる向上、村民の健康増進には不可欠の整備であると確信する。そこで本基本構想整備について今後どのような方向で事業推進をされるのか。

答

大体の試算で水管管理賦課金といふことは、組合の運営費プラス施設の維持管理費用で、10アール当たり3,000円。あとひとまずは用水管理賦課金、水を使うときの電気料になるものが、トン当たり5円を想定している。組合を設立したときに、受益地区面積668ヘクタールで同意を得て、いる農家1,000戸ほどあり、その皆さんに周知したい。

完成後の運用方法について、平成24年度に国営受益地区全体を網羅した「土地改良区」を立ち上げる計画で、諸規定等を作成している。施設完成後は、国営施設、末端のかん水施設等の維持管理も土地改良区で運用実施する計画で進めている。

3月補正予算

● 補正予算質疑

問 不登校もしくは登校しづらいの生徒が六・七名程度でござ理解をいただきたい。

答 住民生活に光をそぞぐ交付金、これは不登校児の対応明教員の賃金の使用というう生徒は何名ぐらいか。

3月定例会の補正で、一

般会計予算1,862万2

千円が減額されました。

主に民生費の国庫負担金

や農林水産事業費の県補助金等の減額によるもの

です。



▲毎年多くのランナーが参加する伊江島マラソン大会。

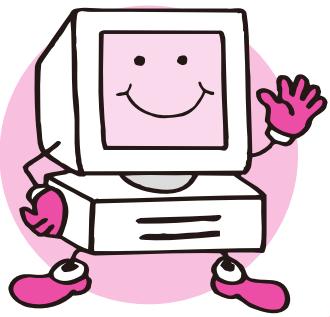
問 建物災害保険料ということ

答 学校管理費の修繕費だが、去つた大きな落雷で中学校周辺が被害になつた。よつうだ。それらに加入しているかどうか。



議会中継 やっています。

役場庁舎1階、各区公民館、3学校など、村内の公共施設に設置されたパソコンやテレビで議会(定例会のみ)のライブ中継をご覧いただけます。



詳しくは・・・

この紙面に掲載された一般質問や質疑応答の内容は、会議録に基づいて一部を要約したものです。さらに詳しく知りたい方は、各区公民館、中央公民館、村議会ホームページで会議録をご覧ください。(アドレスは14ページ)



問 住宅リフォーム助成制度とは、住宅の修繕・改装等の費用に対する自治体からの助成制度のことだが、岩手県宮古市は、長引く不況による地域経済の低迷をなんとかしたいという市民の要望から、1年限りの経済対策を実施して2010年4月から助成を開始したところ申し込みが殺到し、11年1月末の時点では2,707件の利用があり、工事費総額は、助成額約2億7千万元の4倍以上の11億9千万円になり、経済対策として効果



これが、
市政の問
3月定例会一般質問

農作業の安全対策として防護柵の設置計画は

農林水産課長／
早急に安全対策を講じたい

名嘉 實 議員

答 てきめんということである。この制度の創設は全国的な広がりを見せ、沖縄県では沖縄市が県内では初めて23年度予算に5,000万円の助成金を計上している。今、村内はいたるところで公共工事が行われているが、この工事が終わると仕事が無いとの業者の声を聞く。経済対策の一環として、伊江村でも住宅リフォーム助成制度を創設すべきだと思うが、その計画はあるかどうか。

答 米軍飛行場の側溝のフタとフタの間にあけられた穴は、大きくなり竣工当時はそれ程の危険性は立ったが、飛行場南端の大型水路には防護柵も無くロープが張られているだけである。農作業の安全対策として防護柵の設置をすべきだと思うが、その計画はあるかどうか。

答 両水路とも幅、深さが1mもあり竣工当時はそれ程の危険性は立ったが、飛行場南端の大型水路には防護柵も無くロープが張られているだけである。農作業の安全対策として防護柵の設置をすべきだと思うが、その計画はあるかどうか。

答 小規模ガマの整備について、島の海岸線には、数多くの小規模ガマがあると思われる。整備及び不法投棄ゴミは場所を確認し、周辺の安全性を見極めながら対

取り扱い見通しを良くし、今後安全対策を講じたい。

するため、岩手宮古市の住宅り環境の向上を図る目的とされ

ている。本県も沖縄市が4月から制度をスタートするのを始め、リフォームを行う場合経費の現部を市が助成することで地域の経済の活性化を図りながら市民の

住環境の向上を図る目的とされ

ている。本県も沖縄市が4月から他市町村においても今後議論がなされるものだと考える。本村の地域経済や公共工事の現状と今後の推移、又本村における助成制度の地域経済への波及効果及び財政状況等様々な観点から検討をする必要があり、今後沖縄県や他市町村の動向を見極めながら対応したい。

答 人の足が入らないようなシステムができないか、庁議の中ではそうした確認もしながら進めている。農家のみなさんには事故がないように、十分検討しながら進めていきたい。時機については早急にやることでご理解をお願いしたい。

議案等の概要と審議結果

第2回定例会

平成23年3月8日～17日

議案番号	件名	概要	結果
議案第24号	伊江村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	所得割額を100分の5.65から100分の5.80に、資産割額を100分の45から100分の30に改め、所得割額を100分の0.15引き上げ、資産割額を100分の15引き下げる	原案可決(全会一致)
議案第25号	村営フナズ地区土地改良事業の施行について	事業費:6億400万円。 事業工期:平成23年度から平成27年度までの5ヶ年間。	原案可決(全会一致)
議案第26号	伊江村過疎地域自立促進計画の策定について	平成23年度から平成27年度までの事業等の計画	原案可決(全会一致)
議案第27号	伊江村第4次総合計画基本構想の策定について	平成23年度から平成32年度までの今後10年間の村づくりの目指すべき基本方向と施策	原案可決(全会一致)
議案第28号	北部広域市町村圏事務組合規約の変更について	北部広域圏事務組合規約12条の負担金に関する規定を変更し、新たな負担金について、追加し所要の整備を図る	原案可決(全会一致)
議案第29号	用地対策1号溜池工事(1工区)請負契約について	契約の方法:指名競争入札／契約金額:4億5万円 契約の相手方:有限会社 金城土建・有限会社 比嘉組・有限会社 島幸建設 建設工事共同企業体	原案可決(全会一致)
議案第30号	用地対策1号溜池工事(2工区)請負契約について	契約の方法:指名競争入札／契約金額:6億270万円 契約の相手方:有限会社 真組・株式会社 輝男建設・山城電設 建設工事共同企業体	原案可決(全会一致)
議案第31号	伊江村課設置条例の一部を改正する条例	企画総務課が所管していた企画部門を分離し、新たに政策調整室を設置する	原案可決(全会一致)
議案第32号	伊江村課設置条例の改正に伴う関係条例の整理に関する条例	伊江村議会委員会条例の一部改正として総務常任委員会の所管する課について、「企画総務課」を「総務・政策調整室」に改める。伊江村振興計画審議会条例において担当所管を「企画総務課」から「政策調整室」に改める。 伊江村行政改革推進委員会の庶務を「企画総務課」から「政策調整室」に改める。	原案可決(全会一致)
議案第33号	伊江村特産品(さとうきび)加工施設建設工事請負契約について	契約の方法:指名競争入札／契約金額:2億2千260万円 契約の相手方:有限会社 仲宗根組、有限会社 丸仲土建 建設工事共同企業体	原案可決(全会一致)
決議第1号	TPP交渉への参加反対に関する要望決議	国民の暮らし及び地域の実情を無視した拙速なTPP交渉への参加は絶対に行わないよう要望 宛先:内閣総理大臣、外務大臣、財務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、沖縄及び北方対策担当大臣	原案可決(全会一致)
決議第2号	ケビン・メア前米国務省日本部長の発言に対する抗議決議	ケビン・メア前米国務省日本部長の発言に強く抗議するとともに、発言の撤回と沖縄県民への謝罪を強く要望する。 宛先:米国務長官、駐日米国大使、在沖米国総領事、前米国務省日本部長	原案可決(全会一致)

第3回臨時会

平成23年3月29日

議案番号	件名	概要	結果
報告第2号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書の提出について	「平成22年度伊江村教育主要施策」に掲げた学校教育、社会教育、社会体育の重点項目、優先事業がどの程度達成されているか等についての報告。	報告
議案第34号	平成22年度伊江村一般会計補正予算(第8号)	歳入歳出予算額に20,066千円を増額し、歳入歳出5,773,948千円とする。	原案可決(全会一致)
議案第35号	平成22年度伊江村診療所特別会計補正予算(第5号)	歳入歳出予算額に20,449千円を追加し、歳入歳出予算の総額を183,697千円とする。	原案可決(全会一致)
議案第36号	平成22年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第6号)	歳入歳出予算額に13,927千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1,049,577千円とする。	原案可決(全会一致)
議案第37号	平成22年度伊江村老人保健特別会計補正予算(第5号)	補正額0円。予算の組み替え	原案可決(全会一致)
議案第38号	平成22年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	補正額0円。予算の組み替え	原案可決(全会一致)

第2回定例会

平成23年3月8日～17日

議案番号	件名	概要	結果
同意第1号	教育委員の任命について	知念吉邦氏の勇退による教育委員の選任。 宮城孝雄氏	同意(全会一致)
報告第1号	平成23年度沖縄県町村土地開発公社事業計画の報告について	第120回土地開発公社の理事会において審議決定された成23年度の事業計画	報告
議案第7号	平成23年度伊江村一般会計予算	歳入歳出予算の総額 60億7,900万円	原案可決(賛成多数)
議案第8号	平成23年度伊江村診療所特別会計予算	歳入歳出予算の総額 1億6,500万円	原案可決(全会一致)
議案第9号	平成23年度伊江村国民健康保険特別会計予算	歳入歳出予算の総額 10億2,400万円	原案可決(全会一致)
議案第10号	平成23年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算	歳入歳出予算の総額 5,600万円	原案可決(全会一致)
議案第11号	平成23年度伊江村水道事業会計予算	歳入歳出予算の総額 1億4,549万4千円	原案可決(全会一致)
議案第12号	平成23年度伊江村船舶運航事業会計予算	歳入歳出予算の総額 12億2,541万1千円	原案可決(賛成多数)
議案第13号	平成22年度伊江村一般会計補正予算(第7号)	現在の歳入歳出総額から1862万2000円を減額	原案可決(全会一致)
議案第14号	平成22年度伊江村診療所特別会計補正予算(第4号)	補正額0円。一般管理費等の増により97万6千円を歳出科目の予備費から一般管理費へ86万4千、医業費へ11万2千円組み替え	原案可決(全会一致)
議案第15号	平成22年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	現在の歳入歳出予算額から1037万円の減額	原案可決(全会一致)
議案第16号	平成22年度伊江村老人保健特別会計補正予算(第4号)	現在の歳入歳出額から19万5千円の減額。 主に繰越金の減額	原案可決(全会一致)
議案第17号	平成22年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	現在の歳入歳出額から619千円の減額	原案可決(全会一致)
議案第18号	平成22年度伊江村船舶運航事業会計補正予算(第2号)	現在の収益低収入及び支出予定額に9,314万3千円の増額。営業収益の実績増による。	原案可決(全会一致)
議案第19号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	村長・副村長・教育長の期末手当を0.15月引き下げ	原案可決(全会一致)
議案第20号	伊江村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	議會議員の期末手当を0.15月分引き下げ	原案可決(全会一致)
議案第21号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	伊江村消防本部員の報酬の引き上げ日額6000円、7000円、3500円を日額7000円、3500円に改正	原案可決(全会一致)
議案第22号	伊江村出産祝い金に関する条例の一部を改正する条例	第1子、第2子は現行のまま。第3子は3万円から6万円、第4子以降は10万円へ改正	原案可決(全会一致)
議案第23号	伊江村乳幼児医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	0歳児から6歳までの入院時の食事療養費を除いた医療費の一部負担額について、ほぼ全額助成	原案可決(全会一致)

